

私たちの本庄市を、私たちの力で！

暮らしやすく安全できれいなまちを創るための決議

「またゴミが落ちている」－私が登校中、いつも気になることだ。缶やペットボトルなどの飲み物のゴミから車の部品など、道には様々なゴミがある。中には、意識して捨てられたゴミもある。いわゆるポイ捨てであるが、これは当然、やってはいけない行為だ。放置されたゴミは見ていて気持ちの良いものではないし、もしかしたら、そのゴミを踏んで誰かが怪我をするかもしれない。「気づいた人が片付ける」、この行動がまち全体で行われれば、暮らしやすい安全できれいなまちになっていくはずだ。高校生議員として、率先して気づいたゴミを拾い、近くのゴミ箱へ捨てるよう心がけたい。

全国的に、未成年者を狙った犯罪も起きている。部活帰り、塾帰りの小中学生やアルバイト帰りなどの高校生が夜の遅い時間に一人で帰宅しているのを目にすることがある。残念なことに、そのような小中学生や私たち高校生が犯罪に巻き込まれる事件が全国で起きている。犯罪の抑止には、人の目があることが大切だ。犯罪を起こさせないという雰囲気をつくり出すことが大切であり、一人ひとりが他人を少し気にすることで、ちょっとした異変に気づくことができるかもしれない。高校生議員として、自分たちの住むまちの安全を自分たちで守る、犯罪を起こさせない雰囲気をつくり出すため、小中学生や高校生が一人で帰宅するのを見かけた際には気をつけ、何か気になることがあれば大人や警察に繋ぐことを心がけたい。

本庄市内でも、お年寄りを狙った特殊詐欺が起きている。誰にも相談せず、焦って詐欺だと判断できずに被害に遭うお年寄りが後を絶たない。多くの詐欺は、銀行やコンビニエンスストアのATMでお金を振り込ませたり、金券を買わせたりしてお金をだまし取るものだ。高校生は、コンビニエンスストアを使う機会が多い。アルバイト店員である場合もあるだろう。焦った様子や必要以上に金券を買っていたり、電話片手にATMを操作したりするお年寄りを見かけたら、声をかける、話を聞くなどを積極的に行い、必要に応じて店員や警察にその情報を伝えることを、高校生議員として心がけていきたい。

上記3つの心がけを行っていくことを、まちづくりに携わった私たち高校生議員が積極的に行っていくことで、私たちだけではなく、本庄市に住む全ての人が暮らしやすいまちになる。私たち高校生議員の行動が、高校生へ広がり、それが幅広い世代の市民へと輪になって広がることを期待する。このことが、私たちの本庄市を、私たちの力で暮らしやすく、安全できれいなまちを創ることに繋がると確信する。

以上、ここに決議する。

令和4年8月18日

本庄市議会高校生議会